

# 福岡県のソフト対策等について

西日本新聞の記事(令和6年6月27日)より、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定率が全国ワースト2位との報道があった。

近年、激甚化、頻発化する災害に対し、ソフト対策をより一層推進していかなければならない。

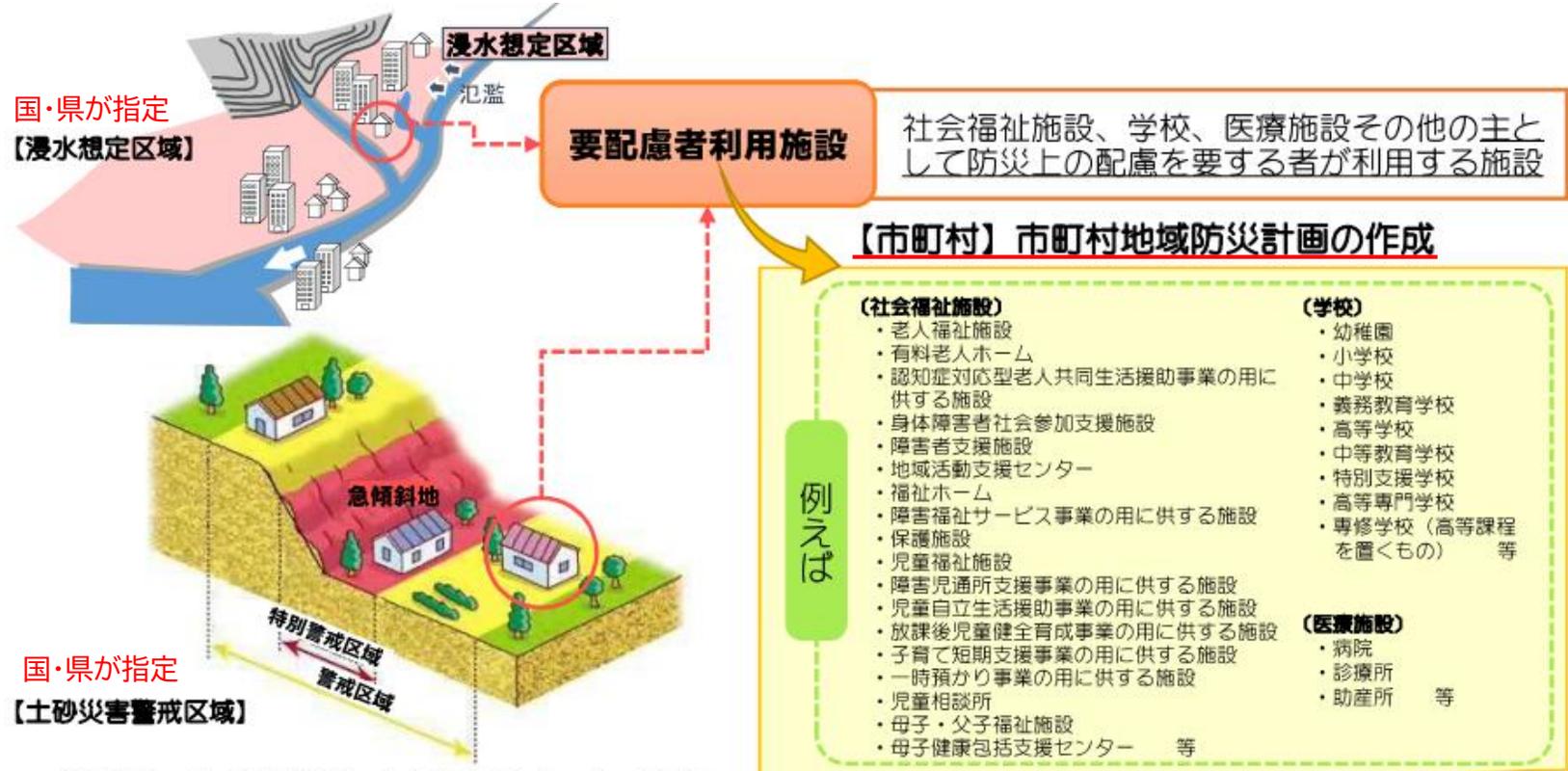
水防法等の改正(R3.7.16)により、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成 及び 避難訓練実施の報告 が義務化される

避難体制  
要配慮者利用施設の

県名	対象施設	避難計画策定率(%)
福岡	5056	60.7
佐賀	1705	88.0
長崎	764	71.2
熊本	2738	96.7
大分	1621	99.0
宮崎	1884	93.1
鹿児島	1543	78.6
九州	15311	80.6
全国	122314	87.1

※国土交通省の資料を基に作成、2023年9月現在

出典:西日本新聞\_2024/6/27



➢ 地域全体の警戒避難体制の充実を図るためにも、都道府県はこれら区域の指定、市町村は地域防災計画への位置付けについて、確実に進めていくことが重要です。

これら施設の名称及び所在地

出典:国土交通省ホームページ

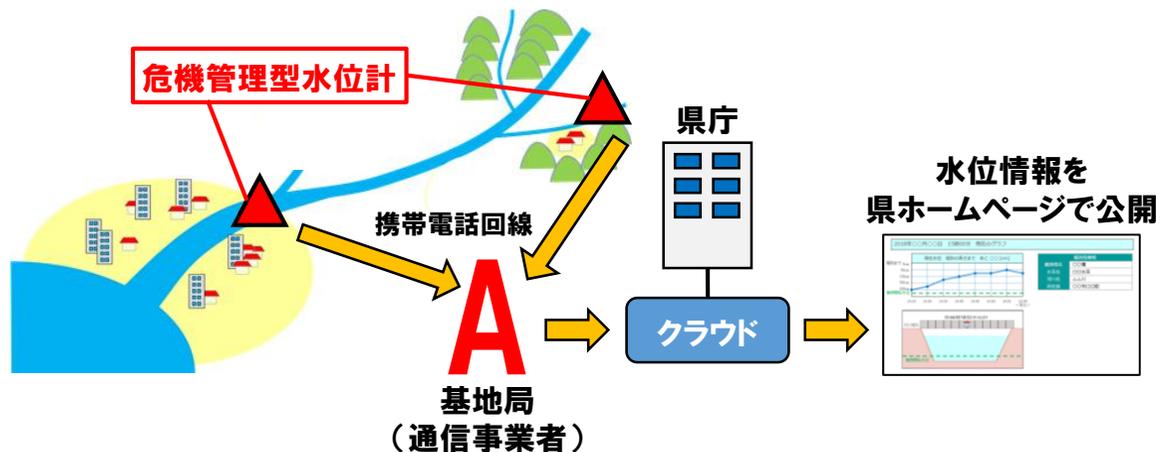
福岡県では、危機管理型水位計の設置を進めてきました。  
危機管理型水位計の水位情報は、県のホームページで公開し、避難判断に資する情報として市町村や住民へ提供しています。  
県内に122箇所設置されています。(令和7年5月末時点)

## ◆危機管理型水位計とは・・・ 洪水時のみ河川の水位を観測する低コストの水位計

### <特徴>

- ・あらかじめ設定した観測開始水位を超過した場合に、水位の観測を行う
- ・太陽電池で5年以上稼働
- ・省スペースで、橋梁等への設置が可能
- ・初期コストが安価（※水位計本体費用は100万円／台程度）
- ・維持管理コストが安価（※洪水時のみに水位を観測、携帯電話回線を活用）

### <水位情報の伝送イメージ>



危機管理型水位計の設置事例  
桂川(朝倉市内)

福岡県では、簡易型河川監視カメラの設置を進めてきました。  
簡易型河川監視カメラの画像情報は、県のホームページで公開し、避難判断に資する情報として市町村や住民へ提供しています。  
県内に183箇所設置されています。(令和7年5月末時点)

### ◆簡易型河川監視カメラとは・・・ 河川画像で洪水時の切迫感を伝える低コストのカメラ

#### <特徴>

- ・屋外に容易に設置できる。
- ・無線式の場合は、電源・通信ケーブルの確保不要(無線、太陽電池等)
- ・機能を限定しコストを低減
  - ズームや首振り機能は不可
  - 機器本体価格は、100万円/台程度

簡易河川監視カメラ設置(例)



福岡県総合防災情報に  
配信される簡易カメラ画像

観測局情報	
観測所名	下道添橋
所在地	久留米市東合川
河川名	下弓削川



下弓削川下道添橋(久留米市東合川町)

○ テレビやラジオ、インターネットなど、様々なところから防災情報を集めることができます。  
 ○ 日頃から、防災情報の入手方法を確認し、災害時の避難行動などに活用しましょう。

## 福岡県総合防災情報

河川の水位、土砂災害危険度、道路の通行規制などの防災に関する情報を確認できます。

福岡県総合防災情報



## ふくおか防災ナビ・まもるくん 防災メール・まもるくん

県内の河川の水位情報、気象情報、その他様々な防災情報をお知らせします。



【福岡県防災アプリ】  
 ふくおか防災ナビ・まもるくん  
[https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app\\_mamorukun/](https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app_mamorukun/)

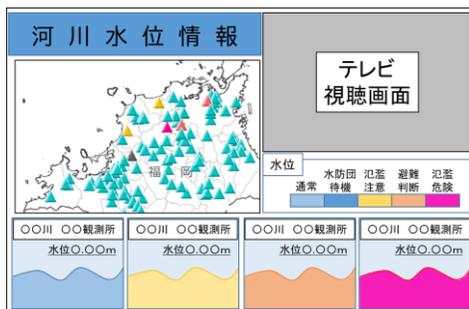


∥ 防災情報は生活必需品！ぜひ登録を！∥



## 地デジの水位・雨量情報

テレビの地上デジタル放送でも、河川水位や雨量の情報を確認できます。



### <その他の主な防災情報>

- ・福岡県防災ホームページ  
<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/>
- ・気象庁ホームページ  
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・川の防災情報(国土交通省)  
<https://www.river.go.jp/>
- ・ハザードマップポータルサイト(国土交通省)  
<https://disaportal.gsi.go.jp/>
- ・浸水ナビ(国道交通省)  
<https://suiboumap.gsi.go.jp/>

## ①「福岡県総合防災情報」にアクセス

福岡県総合防災情報

<http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis/info/top/menu>

QRコード



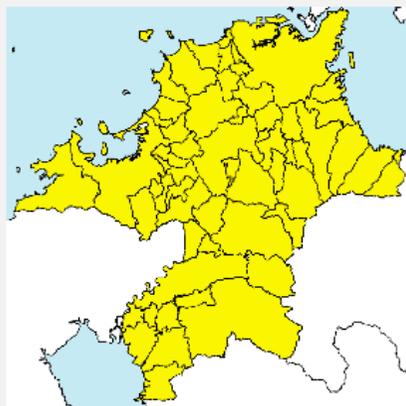
## ②トップページの地図情報(GIS)をクリック



メニュー

- トップページ
- 地図情報 (GIS) クリック**
- 防災気象情報
  - 気象警報・注意報
  - 沿岸津波情報
- レーダ雨量情報
  - レーダ雨量 (気象レーダ)
  - レーダ雨量 (CXバンドレーダ)
- 河川情報
  - 雨量情報
  - 水位情報
  - ダム情報
  - 河川カメラ
  - 洪水予報

防災気象情報 - 気象警報・注意報



## ③メニューから表示情報をクリック →表示情報一覧から浸水想定区域にチェック

総合 河川 砂防 道路

表示情報

**クリック**

表示情報

- 浸水想定区域
- 河川流域 浸水想定区域
- 国土数値情報 浸水想定区域

**チェック**

## ④地図上の任意の指定地点をクリック →指定地点の浸水深が表示できます。

総合 河川 砂防 道路

表示情報

**地点をクリック**

浸水深:1.60m

凡例 閉じる

河川流域 浸水想定区域

- 0.1m以上～0.5m未満
- 0.5m以上～3.0m未満
- 3.0m以上～5.0m未満
- 5.0m以上～10.0m未満
- 10.0m以上

# 4. 河川水位到達情報ホットラインについて

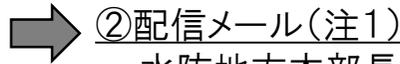
## ホットラインとは・・・

- ・水防地方本部長(事務所長・支所長)が市町村長等へ、直接、電話で河川の水位情報を伝達
- ・ホットラインの対象となる河川は、県が指定した水位周知河川(41河川)

### ①下記の基準水位に到達

【氾濫危険水位】(ホットライン第二報)  
 ・市町村長の避難指示の発令判断の目安  
 ・住民の避難判断の参考になる水位

【避難判断水位】(ホットライン第一報)  
 ・市町村長の高齢者等避難の発令判の目安



②配信メール(注1)  
 ・水防地方本部長  
 ・市町村長等宛て  
 【自動送信】



### ③ホットライン【メール配信に加えて】

- ・水防地方本部長から市町村長等へ電話連絡し、避難指示等の目安となる水位に達していることを直接伝達(水位に応じて第一報、第二報)

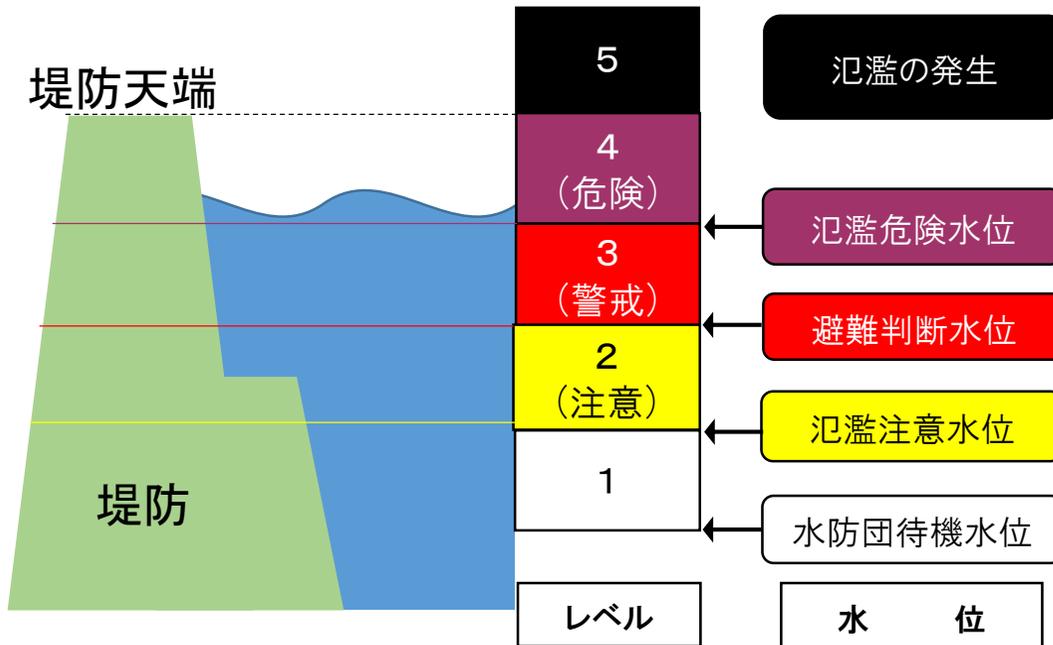
水防地方本部長  
(事務所長・支所長)



市町村長等

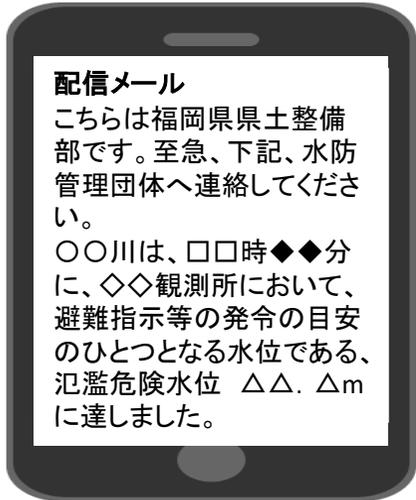


ホットライン  
(直接電話)

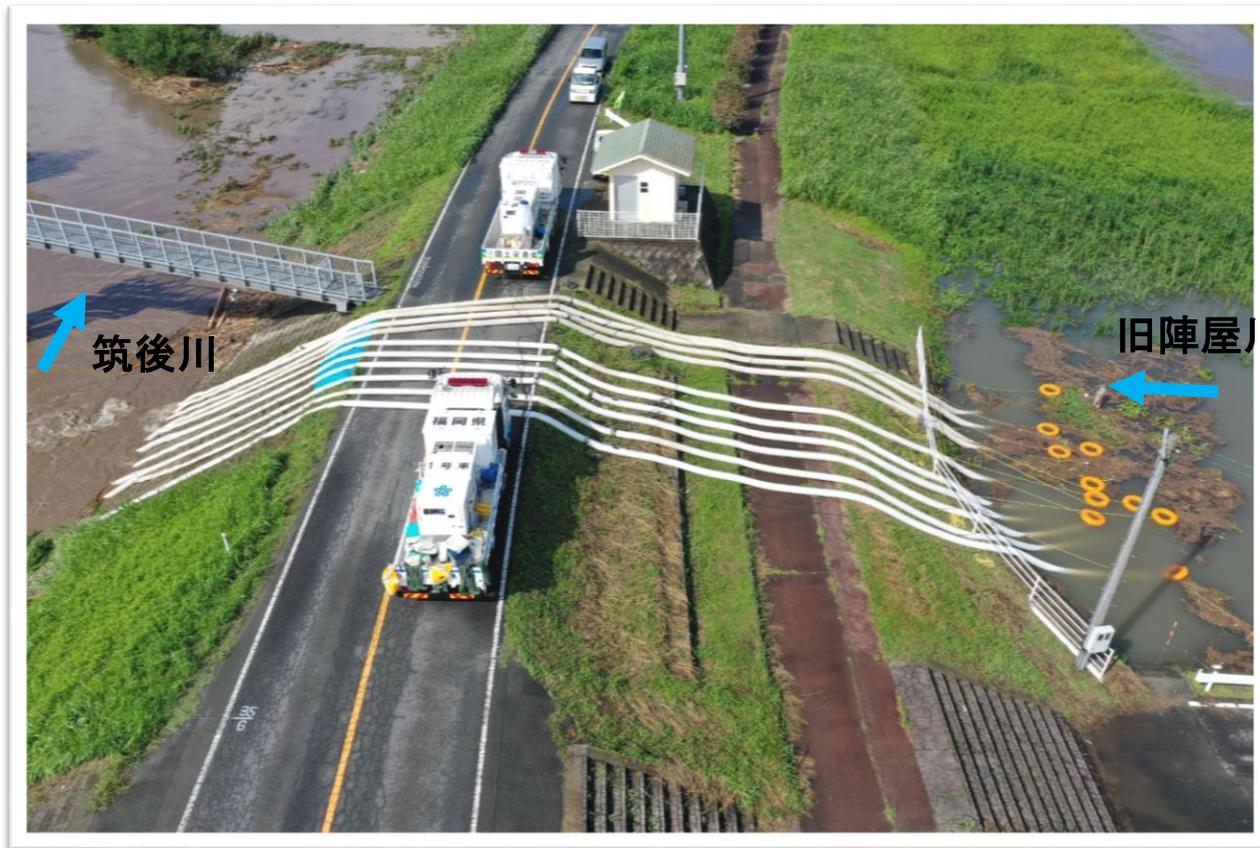


ホットライン(第二報)  
 ホットライン(第一報)

(注1)配信メール(イメージ)  
 例: 氾濫危険水位に到達時



## 陣屋川におけるポンプ車排水状況（令和2年7月8日午前8時）



25mプール  
約300m<sup>3</sup>

排水ポンプ車1台で  
一般的な25mプールの水を  
約10分間でくみ上げます。  
(排水能力 30m<sup>3</sup>/min)

